

焼津市子ども・子育て支援事業計画案に対する市民意見と市の考え方

- 1 意見提出期間 平成26年11月19日(水) ～ 平成26年12月18日(木)
- 2 意見提出件数 2件(1通)
- 3 市民意見と市の考え方 下表のとおり

	ご意見の要約	市の考え方
①	<p>様々な子育て支援において、シニア層や専門知識を持つ人材の活用のため、人材バンクを設立してはどうか。</p> <p>広く公募することで、より充実した人材を集めることが可能になると思う。</p>	<p>本市はこれまでも、次世代育成支援行動計画の中で、地域における子育ての支援として、季節的行事や伝承遊びを通して、世代間交流事業を実施してきました。今後におきましても、引き続き実施してまいります。</p> <p>また、本計画における記載事項ではありませんが、シニア層や専門知識を持つ人材の活用のための人材バンクの設立につきましては、世代間交流事業の手法の一つとして参考にさせていただきます。</p>
②	<p>家庭における子育ては、養育と同時に教育も必要であると考えます。妊娠中より、子どもの心育てに関する保護者の学習も必要ではないか。</p> <p>乳児期の母子の基本的信頼(愛着形成)、自己肯定感(自己受容)の育み、生きる力の育成など、年齢に応じた心育てのプロセスを保護者が学ぶことで、未来を担う子供たちのより良い育ちに繋がると思う。</p>	<p>本市は、妊婦や妊婦の夫を対象に育児に関する学習会や、母子の健康の保持増進のための各種事業及び育児不安を持つ母親に対する指導などに取り組んでおりますが、次世代を担う子どもたちが心身ともに健全な人として成長していくために、より一層力を入れていかなければならないと考えておりますので、今後事業を進めていく上で参考にさせていただきます。</p>